



清流・吉無田水源、水を汲みに来る人が絶えない

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

議会基本条例制定に向け研修	2
出産事故補償に上限3万円	4
広がる獣害・どう対応する	6



議長諸般の報告

議会基本条例制定に向けて

20年12月定例会は、12月11日から15日までの日程で開かれた。上下水道の料金を上げる条例の改定等3件、規約の変更1件。入所児童の増加に伴う、保育料および保育所運営費の増額等、一般会計・特別会計補正五議案が審議された。町政にたいする一般質問に、6人が登壇した。

御船町議会独自研修会

11月28日、役場3階大会議室において、桑原隆広教授（熊本県立大学）を招き、「地方議会制度に関する法改正の動き・議会基本条例について」研修を行った。地方議会の役割や、全国の議会改革の現況について学ぶことができた。

御船町議会は、昨年議会報告会を初めて実施した。同時に町民に信頼される議会を目指し、独自研修を重ねている。今後、議会基本条例の制定に向けて特別委員会を設置し、更なる議会改革を推進していききたいと考えている。

九州横断自動車道延岡線建設促進中央大会

10月8日、東京都ルポー

ル廻町において開催された。沿線住民の永年にわたる悲願である道路建設について早期完成のため提言することを決議した。

御船町教育フォーラム開催

10月19日（日）に、町カールチャーセンターにおいて開催された。町内幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学の生徒によるオープニングセレモニーの大会唱の他、講演会、PTAからの活動報告が行われた。

上益城町議会議員研修会及び親善スポーツ大会開催

10月27日、甲佐町生涯学習センター「輝き」において、太田黒浩一氏を講師に「元気が一番」と題して講

演を頂き、地域活性化について意見をもらった。

熊本県町村議会議員研修会

去る11月19日に熊本県立劇場において開催された。三反園訓氏（テレビ朝日キヤスター・コメンテーター）が、「舞台裏から見た政局・政治展望」と題して近年の中央政権の動きを分かりやすく講演された。

第52回町村議会議長全国大会

11月19日に東京都NHKホールにおいて開催された。

「地方分権改革の実現に関する要望」外22件。各地区要望では「九州地区における交通網の整備促進に関する要望」外8件が採択された。また、「日本のこれから」という演題で、藤原正彦教授（お茶の水女子大学理学部数学科）の講演があった。

上益城議長会研修

11月19日～21日にか

けて、実施された。平成19年地域づくり総務大臣賞を受賞した伊達市が「官民協働のまちづくりの取り組みについて」、また洞爺湖町役場が「チームマイナス6%・エコミュージアム構想について」発表があり、大変参考になった。

御船町伝統芸能フェスティバル

町民が実行委員会を立ち上げ、「水ものがたり」と題して、伝統芸能紹介に元祿嘉永井手や八勢眼鏡橋の歴史を演劇で組み合わせ演じられた。町の有形無形の財産を再認識し、誇りと思える取り組みだった。



町民有志による感動の舞台「水ものがたり」

行政報告

町立認定こども園 私立保育園新設 必要性認めず

新たな施設必要ない

閉園になった御船幼稚園存続に対する要望が強く、幼児教育と保育を兼ね合わせた機能である認定子ども園について模索してきた。

9月中旬に町内の就学前児童全世帯650戸を対象にアンケート調査を実施。

225通が返送された。(10月31日現在) また、10月1日午前と午後の2回、説明会を実施した。38名の出席があった。就学前児童の減少と待機児童がほとんどない現状では、現在の公立保育園・幼稚園で保育の需要が安定している為、新たな施設の必要性を認められないと判断した。

火災予防実施

全国火災予防運動が、11月9日から15日までの7日間実施され、11月2日には、平坦地区での密集地火災を想定し、全9分団積載車32台を召集する非常呼集訓練を実施した。

バイオマス

進む竹の事業化

農水省のバイオマス利活

用交付金と目的会社の融資により、年度内の工場建設(白岩工業団地内)に向けて準備中。平成21年2月までは、竹の現地調査が終了し、21年度の早い時期に、竹の伐採・搬出会社を立ち上げる予定。

行財政改革

慎重に検討

プロジェクトチームを編成し、事務改善提案の再評価や事前評価に関し、現在協議を行っている。長期財政シミュレーションを作成中で、多額の費用を要する案件について、実施時期を検討中。新規事業の財源は、既存事業の縮小か財政調整基金しかなく、慎重に取り組まなければならないと考えている。

地域ごとの

敬老会が行われる

木倉、田代西部、上野、七滝校区、田代東部地区と、竹の迫・田迎・川内田囃託区、36サロンドで実施された。地域ごとに特色を出した身近な敬老会ができ参加者も多かったと報告を受けている。課題は次回の開催に活かしたい。

木倉小の敷地内に児童保育施設が完成

念願であった施設が完成し、今後とも円滑な運営ができるよう支援をしていきたい。

介護保険

第二回地域ネットワーク会議(10校区開催)

に、450名の方が参加された。今回は、小学校4校と連携し「認知症サポーター養成講座」で、認知症の方への接し方や理解について学んだ。

特定高齢者事業を開始

元気な高齢者で多少機能低下が認められる方を対象に介護予防事業を実施するもの。179名の方が選ばれ、健やか健口教室・いきいきトレーニング教室等に参加されている。

感動の伝統芸能フェスティバル「水ものがたり」

御船町観光協会を中心に実行委員会が立ち上げられ、



完成した木倉小学児童保育舎

古閑迫トラ舞、肥後神楽、和太鼓3団体の協力のもと吉無田水源から流れる水をテーマに演劇を交え開催された。元禄・嘉永井手や八勢眼鏡橋の歴史や建設にまつわる話や、郷土の先哲5人を町民代表が演じ紹介するなど、出演者は町民70人程となり感動のフィナーレではなかったかと思う。

御船町都市再生整備計画を策定

シンボルロード線については、平成21年12月までに443号線から御船中学校まで供用開始を計画している。今後の「まちづくり」を進めるためには、各種計画を整理し課題の把握が必要。住民の参加及び意向を

聞き、課題に即したまちづくりの目標設定と、実現するために各種事業の実践的な組み合わせをおこなっていきたいと考える。

御船町教育

フォーラムを開催

「学園都市構想の推進」と併せて、「御船町教育の日」に町内幼・保、小中学校、御船高校、平成音楽大学との連携及び協力をいただきフォーラムを開催した。総勢700人以上の参加があった。

給食センター問題は凍結継続

給食センター問題については、施設面の事業費、人件費の問題を検討し、「食の大切さ」が叫ばれる中で学校給食を「生きた教材」としての活用が重要と考える。また、地元で取れた農産物を学校給食に取り入れることが出来るよう、組織作りと「食育計画」を策定する必要がある。学校給食を御船町の特色として捉え、町を売り出すことも出来ると思われるが、これらの新たな課題に対して、1年内を目標に保護者や住民、議会との調整を行いたい。

出産一時金 プラス出産事故補償3万円

条例改正

国民健康保険

●条例の一部改正

規定の出産育児一時金のほかに「出産事故に対する補償料」として3万円を上限として加算する。

●下水道条例

の一部改正

下水道料金の見直しは4年に一度行っており、基本料金は据え置くが、従量料金(8mを超える排水1mにつき150円が170円に)6月請求分から変更さ

れる。

●水道事業・簡易水道

事業の一部改正

水道事業および簡易水道事業に毎年一般会計から補填をしている。経営の健全化策として、基本料金は据え置くが超過料金(1mにつき150円を170円に)6月請求分から変更される。

規約変更

●上益城広域連合の処理する事務および規約の一部変更について

上益城広域連合で関係職

一般会計

特別会計 補正

主な事業

●一般会計補正

※入所児童38人増加のため、私立保育料181万4千円増。私立保育所運営費423万9千円増額。

●国民健康保険補正

※医療給付費変更決定のため3512万6千円減額。保険基盤安定負担金見込み額2530万7千円減額。保険基盤安定繰入金1769万2千円増額。

●介護保険補正

※21年度から認定調査項目が変更されることに伴うシステム改修費用123万9千円増額。

※自立支援医療費(更生医療)支援事業229万5千円増額。

●後期高齢者医療補正

※特別徴収保険料2935万5千円を減額。普通徴収保険料1018万4千円増額。

●緑の村運営補正

※前年度繰越金128万5千円増額。



種別	使用料(1ヶ月につき)			
	基本料金		従量料金(1mにつき)	
	排水量	金額	排水量	金額
水道水使用	8m以下	1,050円	8mを超える排水1mにつき	170円
井戸水使用	8m以下	1,050円	8mを超える排水1mにつき	170円
備考 1.下水道使用料金は、水道水の1月毎の定例日におけるメーターの指示水量により算定する。 2.水道水と井戸水を併用して利用した場合には、その合わせた水量について料金表を適用する。 3.基本料金及び従量料金は、消費税を含んだ金額とする。				

料 金	基本料金(1ヶ月につき)		超過料金
種 別	水量(m)	料金(円)	1mにつき(円)
一般用	8	1,150	170
営業用	14	2,150	170
浴場用	100	10,500	170
団体用	20	3,060	170
一時用	—	—	690



新築され、明るい園内・御船昭和保育園

委員会報告

陳情・請願



荒れる農地

旧七滝村

特定農山村振興地域
指定の要望を不採択

「旧七滝村の特定農山村振興地域指定についての要望書」は、20年9月定例議会において審議されたが、「指定の要件が非常に厳しく不可解な点があり、また、国、県に対して要望する必要がある」と判断し、継続審議となっていた。

今回、産業建設常任委員

会において再度審議が行われ、委員会としては不採択との報告があった。その理由として、「指定要件には農地の傾斜度や林野率、また農林業従事者率等が関係し、旧七滝村は林野率66%で該当せず、農林業従事者率においても該当しない現状である。また、国の指定見直しについても、今現在

考えられず不採択はやむを得ない」とのことであった。本会議において審議され、少数であるが「指定要件がかなり古く、国に見直しを迫るためにも地方議会から声を上げることは必要」との意見もあった。採決の結果、不採択多数により、本要望は不採択となった。

食の安全・安心 要望を採択 ➡ 基本方針を決めて



地元農産物が並ぶ・かあちゃん市

「町民の食の安全・安心についての要望書」は、産業建設常任委員会において審議がなされた。委員長より「町が営農指導員と共に、農家の皆さんに食の安全・安心の方法として減農薬等を指導し、推進していくことが必要」と判断し採択と決したことの報告があった。各委員からは、「食の安全・安心について総合的な対応といっても範囲が広すぎる」「食の安全・安心について、まず町がどういう方向に進むか基本方針を決める事が

大切である」「減農薬や堆肥などを農家の皆さんに推進する事によって、安全・安心につながる」との意見や、あるいは「現在、町には他町村にない営農指導員を雇用している。指導員に食の安全・安心について農家の皆さんに指導して頂いたらどうか」等の意見があったとのことである。本議会において審議され、全員一致で採択された。

広がる獣害（イノシシ）対策 どう対応



田端 幸治議員

イノシシの被害状況は

近年農林業における獣害（イノシシ）が農家を悩ます状況になっているが、被害状況と今後の対応策はどのようなになっているか。

山本町長 平成20年度御船町におけるイノシシ被害額は、栗1ヘクタール、水稲6ヘクタール約630万円となっている。NOSAI熊本に水稻被害が出ている



銃による駆除のほか、箱罠による駆除も。

分は9.1ヘクタールで本年は前年より約3倍の被害状況。対策としては年3回にわたり駆除隊を3班にお願いし駆除を依頼している。他、イノシシ対策として箱罠設置や電柵に対して補助をしている。

国の補助事業等への取り組み

山本町長 今後、町、農林

業関係、猟友会等で構成する地域協議会を設立し、農林水産省の国庫補助事業の活用を協議したいと考えている。

町政にどう活かす マニフェスト

町づくりの基本である総合計画と山本町長が掲げているマニフェストをどのようにに整合性を持って町政に反映させるのか、またその進捗状況はどのようにになっているか伺う。

山本町長 「ふるさとの再生と創造」の町づくりに向けて、7つの約束と行財政

どうなった非常勤 特別職に対する 費用弁償

今年3月議会において、非常勤特別職（農業委員等）の費用弁償について質疑の際、法に抵触する条例になっているかと問うたところ

改革の柱を目標として、58の小項目を掲げている。

マニフェストの位置づけは、町政執行上の町長の方針であり、最上位規範としているが総合計画をベースとしたところで、その優先すべき事項と捉らえる。

進捗状況については、平成20年11月末段階で58項目中実施済み6件、実施中33件、検討中15件、未着手4件である。

マニフェストに対する評価は誰がどのように実施するのか。また、外部評価は考えているのか。

山本町長 評価・検証については、月1回関係課と木村副町長が実施し、3ヶ月

ろ、監査委員の意見等も踏まえた上検討し回答することであったがどのようなことになったか伺う。

山本町長 非常勤の特別職については町条例に基づき支払いを定めている。御船町の場合、非常勤特別職については職員の例により支給している、農業委員につ

に1回私が聞き取りを行っている。自己評価と外部評価を行う大会を来年3月ごろ開催する予定。

三角地帯（みんなの広場） 構想については将来の御船町づくりにとって非常に重要な取り組みであり、御船小学校改築等も含めて慎重に進めるべきと考えるがどのように考えているか。

山本町長 三角地帯については恐竜博物館や産業ふれあい広場等、素案の段階であり、住民の意見を取り入れながら魅力ある中心市街地整備を図れるよう準備している。

いても同様に一般職の職員に支給する費用弁償の例によるとしているのでこのまま行きたいと考えている。

再度、法令審議会や県市町村総室等に確認のうえに条例の見直しが必要ではないか。



栗原 秀子議員

住民の意思が反映される まちづくり条例の制定を

御船町でも、シンボルロード、国道443号線・445号線の建設に伴う中心市街地の変容は住民の思いとはかけ離れたものになっている。二町合併を住民投票により白紙にした住民の、ふるさと御船に寄せる思いは深く、そのことが昨年の町長選において山本町

長が大差で選ばれた大きな理由だと考える。マニフェストに「御船町協働まちづくり条例」の制定を掲げておられる。町民の意見・意思を反映させるシステムづくりについて現況を聞きたい。

1960年代の急速な経済成長によって、郊外地において住宅開発が急激に進んだ。その結果、道路、学校等の施設が追いつかず、また自然環境や居住環境が悪化する問題が全国で頻発した。このような問題に対して、地方自治体は「宅地開発指導要綱」を制定し対応するようになった。ところが、1980年代に入り、規制緩和策が取られると、法的に危うい「指導要綱」ではなく、議会の議決を経て制定する法規である条例を制定する自治体が増えてきた。



町民の意見が反映されるシステムづくりに向けて（マニフェスト意見交換会の様子）

山本町長 現在、嘱託員定例会（毎月1回）、マニフェスト意見交換会（毎月1回）、様々な地域おこし活動や文化事業等の支援、まちづくり大会（年2回）、ミニ集会、子育て懇談会やその他多くの会合等を実施し、町民の意見に直接耳を傾け、反映の機会とする手法で実践している。これらを活かしながら、まちづくり基本条例制定に向けては、来年度組織づくりをし御船

町に合った条例にするため勉強をしながら、22年度に条例づくりに入りたい。そのためには、住民のリーダーの育成が必要と考える。

これまで確かに町民の意見を聞く場をたくさん設けられてきたが、町民の意見からアイデアをもらう場に留まっている気がする。町民としては、意見は言っても何も変わらないという思いが募るのではないか。全国のまちづくり条例は数多くあり、自治省の調査では669の自治体で1080のまちづくり条例がある。町民憲章のような抽象的な条例から住民投票を明記したものや、環境問題まで扱った条例など幅がある。どういう条例を考えているか。

山本町長 町民に意見を聞くことは大事。そこから見えてくるものがある。まず、足元から考えることが大切。そして、町を考える。その仕組みを考えた。やり方もまた、住民で考えていけばいいと思う。住民自治基本条例なのであらゆる分野が入る。嘱託会で宗像市に研修に行ったが、いいところは真似をすればいいと思う。

条例そのものについての勉強も必要だし、また、今御船町の問題は何か、残していかねばならないのは何か、町民が共有することが大切。大変手数のかかる作業になると思う。メンバーは2月のまちづくり検証大会の参加者を主と考えているのか。

山本町長 先日、各種団体、意見交換会参加者、一日女性課長などに集まっていたが、検証大会の準備を進めている。行政のしくみを理解していただき、検証に入る。そのプロセスが大切と思う。そこからまた人材も広がる。やる気のある町民に関わってもらいたい。

議会も条例について勉強を重ねていくことになっている。議会からの提案もやりたい。

山本町長 町民に意見を聞くことは大事。そこから見えてくるものがある。まず、足元から考えることが大切。そして、町を考える。その仕組みを考えた。やり方もまた、住民で考えていけばいいと思う。住民自治基本条例なのであらゆる分野が入る。嘱託会で宗像市に研修に行ったが、いいところは真似をすればいいと思う。



岩田 重成議員

旧七滝中跡地を住宅団地に

中山間地域の過疎化対策について

一、中山間地域の過疎化が深刻な社会問題となっている廃校跡地を活用した具体策はないか。

①廃校跡地の旧七滝中学校を住宅団地にする考えはないか
②旧七滝小学校を改造し町営住宅はできないか

山本町長 現在五箇所が廃校となっている。福祉課で山間地の廃校施設を利用した小規模多機能型居宅介護

施設として利用ができないか、検討しているところ。そのほか環境教育施設として申し出があったがまだ具体的な案は提出されていない。

③七滝中央小学校の児童数の減少をどう考えているか

宮村教育長 今の状況を重く受け止め、何か対策はないかということで、九月より「小規模特認校」として

指定し、全町内外を通学区域として認め、現在児童の募集をしている。他に「活性化協議会」を立ち上げ検討会を開催した。

④袴野中小学校を七滝中央小学校に統合する考えはないか

宮村教育長 今後、教育委員会としては、益城町及び御船町袴野中小学校組合議会や地域の方の声を十分聞く機会を設け、益城町教育委員会と協議しながら進めていきたいと思う。

延岡線「上野地区」のインターランプ付近の振興策は考えているか

山本町長 バイオマスタウン構想に基づき事業計画されている山間地域の竹資源を生かした里山の再生と雇用促進が期待される。山間地域の担い手となる若者の雇用が確保され地域の活性化とともに町の経済発展に寄与される閉校跡地へ宅地造成を行い低価格で提供する。このことにより、当該地区への定住促進並びに七滝中央小学校への通学児童生徒の増数確保が得られる。



延岡線の建設現場

二、少子化対策について。厚生労働省が発表した出生率は過去最低の昨年を下回り、日本の少子化問題は深刻さを増している。経済的な問題、子育て支援の不備、さらに子供を取りまく環境が悪化している。社会全体で子育てを支え、行政が後押しをして産んでいただく環境を作ることが大事だと思う。

①そこで三人目以降の子供さんに出産祝金制度の創設をする考えはないか

山本町長 現在のところ出

産祝金制度を創設する考えはない。現在出産から子育てにかかわる支援として、妊産婦健診、乳幼児健診、子ども医療費をはじめ、保健福祉教育の分野から支援が行われている。

②義務教育終了まで医療費を無料化する考えはないか

山本町長 今年七月から小学校三年生まで年齢を引き上げ実施している。今後状況を見ながら小学校六年生まで拡大していくこととしている。

旧七滝中学校



佐藤 俊明議員

給食で地産地消の拡大を

◆産地別納入状況

	9月	10月
町内産	干し椎茸、ナス	干し椎茸、人参
県内産	ピーマン、キャベツ、きゅうり、赤ピーマン、もやし、ねぎ、しょうが、ミニトマト、えのき、なす、豚肉、鶏肉	ねぎ、きゅうり、さつまいも、もやし、チンゲンサイ、小松菜、ナス、里芋、ほうれん草、豚肉、鶏肉
国産	玉ねぎ、人参、セロリ、レタス、じゃがいも、しめじ、キャベツ、みつば、豚肉、鶏肉	玉ねぎ、人参、セロリ、レタス、じゃがいも、しめじ、キャベツ、りんご、ごぼう、ピーマン、豚肉、鶏肉
外国産	牛肉(オーストラリア) グリンピース(ニュージーランド) コーン、いんげん(タイ)	牛肉(オーストラリア) グリンピース(ニュージーランド) コーン、いんげん(タイ)
不明	なし	なし

◆野菜類主要5品目の仕入れ価格

	9月(円/kg)	10月(円/kg)
じゃがいも	230	160
にんじん	250	200
たまねぎ	170	150
キャベツ	160	200
きゅうり	500	400

給食に地元産物を年間七千万円市場

スーパーに行けば季節を感じさせない野菜や果物類が所狭しと並んでいる。キウリやトマトを冬に食し

冷凍みかんを夏に食べる今日、「新鮮な旬の食材を食べること」が当たり前ではなくなってきた。

このようなことから、子ども達も旬のものを食べ、生産者との交流を通して安全でおいしい食環境を作ることがとても大切ではないか。

多くの地場産品、地元の食材をもっと利用した給食作りのための、地産地消の取り組みについて以下の点

大切なものは給食で

一、学校給食でもっとも大切であると考えて運営しているものは何か。

宮村教育長 健康増進と体位の向上、健康で充実した生活を送るために食生活の基礎・基本を養い自己管理能力を育てることをねらいとして工夫された献立を実施している。

二、食材の選定、購入にあたりどのような経過をとっているか。

宮村教育長 各学校で関係業者と物資販売契約会議を開き、契約している。

三、20年9月の小中学校全体の給食供給数は何食か。

宮村教育長 一日約1600食、一月約32000食。

四、一人当たりの給食費は年間平均でいくらか。

宮村教育長 年間平均給食費は小学校で4万867円、中学校で4万6200円。これは食材費。

五、給食費に掛かる行政費用(人件費・給食室・調理器具・光熱水費等)はどれだけか。

宮村教育長 19年度で約1億1470万円。

つまり、学校給食には年間1億8千万円程度がかか

ていると云うことですね。

六、食材の使用の現状はどうなっているか。

回答 別表に掲載。

七、野菜類主要5品目の仕入れ価格の提示を。

回答 別表に掲載。

利用で地産地消と云えるか

八、地産地消の本旨はなに

宮村教育長 地産地消を活用すること、児童生徒がより身近に実感を持つて地域の自然、食文化、産業等についての理解を深めることが出来る。生産者や生産過程を知ることで、地域の産物の理解や食べ物への感謝の気持ちを抱くことが出来る。流通経路を短縮することで、新鮮で安全な食材を確保することが出来ることから、学校と地域との連携・協力関係を構築し、今後益々、地域とのつながりを広げることが考えられる。

九、地産地消がなかなか進まないが問題はなにか。

宮村教育長 給食への地場産物の利用については、平成20年の6月より、毎月19日を「食育の日」と定め地域の食材を活用している。

課題点は、①関係者が集まって検討する場がない。②品揃えおよび数量確保、天候等により安定した入荷が困難。③生産者との調整等、入手方法が困難。④既存の仕入れ業者等との関係など考えられる。

今後、勧める上で協議検討する場所が必要である。

農産物はある組織化と方針を

町内で生産され、主要な市場に出荷されている産品は88品目以上。吉無田高原野菜振興会を中心としてこれまで発展してきた。課題として挙げられていることは、①生産者の組織化②農産物の生産計画。学校給食への供給は、出荷数量、時期、価格が明確で取り組みやすい。既存の納入業者とも連携しながら、実践の積み重ねで地産地消の拡大を願う。

中山間地過疎化防止 不可欠な優遇措置



藤村 久議員

プロジェクトチームの編成を。

中山間地の過疎化防止のため、中山間地に対する町外者流入、町内平坦部からの転居者も含め、定住促進のための優遇措置条例等を検討すべき時期にあると思うが、町長の考えを聞きたい。

山本町長

（左）指摘のように、

中山間地域においては人口減少が進み、小学校の統廃合やJ・A施設の撤退などもあり、高齢化率もかなり高くなっているのが現状だ。これに歯止めをかける施策のひとつとして、定住促進のための優遇策の検討の提案かと思う。一般的に町全体の定住促進のための施策では児童医療費助成や子育ての支援など福祉対策が多いようだ。またいくつかの町村で見られるのは、町に転入し、新築住宅を建てた場合、年齢や家族の人数など一定の要件を満たしていれば補助金を支給するなど直接的な住宅建設支援がある。

七滝中学校跡地を住宅用地として分譲し、これに対

して何らかの補助策を考えるとということについて検討をしてみたいと考える。校舎の解体や進入道の問題などいろいろな検討課題があると思われる。

優遇措置条例を作成するためのプロジェクトチームの編成をしてもらいたいと考えているがどうか。

山本町長

十分気持ちは、察しております。

じゃ、やると言う事ですね。

山本町長 十分やる方向で考えております。



町道北園茶屋元線もこの橋が出来れば完成



廃校後、さみしく建っている。活用が待たれる



山間部住民の希望・七滝中央小学校



吉村 公一議員

古閑迫とら舞・中原神社の 肥後神楽を県の重要無形 民俗文化財へ指定を



古閑迫とら舞



中原神社の肥後神楽

御船町の伝統芸能について

御船町にも多くの伝統芸能がある。中でも古閑迫のとら舞や中原神社の肥後神楽は、長い歴史がある。そこで、県の重要無形民俗文化財に指定されるよう望むが考えはあるか。

宮村教育長

現在、御船町には、県指定文化財が4件、町指定文化財が23件ある。古閑迫のとら舞は、町指定重要無形民俗文化財に指定

されている。とら舞は、子ザルが、とらと戯れるしぐさがユーモラスでこの地独特のもの。県の指定及び選定の基準に「郷土に伝わる芸能のうち、よく伝統を保持し、すぐれたもの」とあ

る。町の文化財保護委員（3名）で調査し、審議したうえで指定申請をしたいと思う。中原神社の肥後神楽については、現在、町の指定を受けていない。まずは、町の重要無形民俗文化財に指定するために他の地区の神楽との比較検討も必要に

なり、町の文化財保護委員会で審議をしていきたいと思う。

それぞれ指定される事が、

御船中学校生徒の学習態度について

御船中学校が荒れていると聞か。また、今後の対応はどのようにするか。

宮村教育長

現況は、生徒指導上の諸問題が出てきている。服装が乱れている生徒が目立つ（シヤツ出し、ミニスカート等）、言葉遣いが荒い、作業や掃除を熱心にできない生徒が増えている。授業に集中できない生徒、ノヘルやノータスキの自転車の2人乗りや並列進行の交通規則を

郷土の誇りとして、今後継承されていく上で手助けになればと思う。強く要望する。

守れない生徒もいる。不登校の生徒の報告が毎月十数名はある。教育委員会としては、学校、生徒の実態を具体的に把握し、職員の生徒の捉え方、接し方、指導についてどういった取り組みをしているかを聞き、そしてその取り組みによって生徒がどのように変わったか、検証をしていきたいと思う。学校の具体的な対応としては、服装の乱れについては、その場で指導するのを原則とする。指導に従わない場合は、該当学生の複数の職員で指導に当たる。又、学校から情報を発信したい。ぜひ、皆さんのご支援、ご協力、生徒たちへの声かけをお願いしたい。生徒指導上の問題が出てきていることも事実。

議員・町執行部

知恵を出し議論する場に

御船町 下辺田見 正さん
下野

飯田山を仰ぎ、緑と清流の御船町で生まれ育った妻の町を第二の故郷として40年になる12月15日、平成20年第四回定例議会傍聴の機会を得ることができました。午前中は、各号議案の審議がなされ、各議員さんと執行部による白熱した質疑応答の中、上下水道料金改定議案は、特別会計と簡易水道及び受益者負担の原則により、議員採決、賛成多数で可決、来年度からの料金値上げが決定しました。執行部答弁中、短時間で残念でなりませんでしたが、質問を想定され、的確に答弁できる準備と更なる努力をお願いします。午後は6名の議員さんによる一般質問が実施され、その質問は

中山間地の諸問題、町民参加の町づくり条例、少子化問題、学校給食における地産地消、伝統芸能、中学校問題等の地域行政、文化及び教育と社会全般にわたる質問で良かったと思います。議員席の席札が番号のみと成っておりますが、席札に番号、氏名の記載があれば議員さんの顔と名前が一致して良いのではないのでしょうか。5年後、10年後の住み良い豊かな町づくりは、町民の熱意と、町民代表たる議員、町執行部が協力して、知恵を惜しみなく出し議論する議会から、その第一歩が始まると思います。今回は一般会計予算の議案を傍聴して、町づくりの歩みをみたいと思っております。

あなたの想い生かす
ふるさと納税制度

臨時議会で(可決)

生まれた町や応援したいと思う市町村等へ寄付をした場合、所得税や住民税などの控除が受けられる制度を「御船町ふるさと応援寄付金」として受け入れる制度の条例を可決した。

皆様からいただいた寄付金は、「御船町ふるさと応援基金」に積み立て、「自然環境や景観作り、地域資源の活用、地域の活性化、教育整備、健康な暮らしに関する事業」など、皆様のご希望に応じた事業に活用します。5000円以上寄付をいただいた方にお礼として、①恐竜タオル、②恐竜バ



すばらしいふるさと御船町

町議会報告会

「町内各校区への町議会報告会は」、一年に、一回と決定致しました。

編集後記

明けましておめでとうございます。

食の安全性、教育界の不祥事、経済の悪化と立て続けに様々なことがあった平成20年から21年へと年が移りました。美しい年明けを皆様と共に祝いをしたのですが、厳しい現実には益々色濃くなるようです。寒空の下、職も住居も失った労働者の様子が報道されています。若者の就職も厳しく、内定取り消しがでるまでになっています。この現実を見極めながら、こんな時だからこそ足元を見つめ一つずつやるべきことを果たしていかなければならないと思います。どうぞ、一緒に頑張ってくださいましょう。

栗原秀子

お知らせ

次回の3月議会は
3月5日開会予定です。